

News Letter

FUKUOKA ASSOCIATION OF SCHOOL DENTISTS

Vol.2

2017年10月31日発行

CONTENTS

九州北部豪雨被災地区近況報告	1
九州北部豪雨 一日も早い復旧を	2
学術委員会紹介	3
第22回福岡県学校歯科保健研究大会のご案内	4
平成29年度九州地区学校歯科医会役員連絡協議会	5
学校歯科健診で児童30人の乳歯抜く	5
図画・ポスター・標語審査会	6
私の本棚	6
第2回西日本子ども歯科保健・健康会議	7
挑戦してみてください！ 歯科医師国家試験問題	8
会務報告	8
編集後記	8

平成29年7月九州北部豪雨被災地区近況報告

平成29年7月5日から6日にかけて発生した集中豪雨は朝倉市をはじめ、福岡県及び大分県で土砂災害など大きな被害をもたらした。

学校でも様々な被害があり、子どもたちの生活にも大きな影響があったと思われる。

今回、学校はどのような被害を受けたのか、子どもたちの生活にどのような影響があったのか、学校歯科医の視点からということで被災地区の会員である古賀祥朗先生にご報告いただいた。

写真は松末小学校の体育館の中の泥掻きの様子。

重機が入っているが、そのあとは人力による泥掻き～清掃が行われる予定。

松末を含む杷木地区の4つの小学校は、来年度から1校に統廃合される予定。

今年の松末小学校の児童に卒業式や開校式を松末小学校でおこなわせたく、市やPTAなどで協力して体育館などの復旧作業をしている。



九州北部豪雨 一日も早い復旧を

国内災害史上において被害はもとより、その特殊性でも強く記憶に残るであろう『平成29年7月九州北部豪雨』。中でも朝倉市東部に位置する朝倉地区・杷木地区、そして東峰村で発生した土砂災害は、今でも忘まわしい記憶として生々しい。

この地域の会員のほとんどが被害に遭われ、診療所が浸水などにより損傷を受けた会員も少なからず存在する。ただ、何よりも学校歯科の対象となる子ども達の安否であるが、あれだけ大きな爪痕を残した災害を受けながらも市町村内の子ども達が全員無事であったことは、皆に安堵をもたらしたことであろう。

この原稿の依頼を受ける際、被災した子ども達の歯・口の変化や学校歯科医がどのように関わったかということを中心に…ということであったが、申し訳ないが前者に関しては、「そんなこと分かるはずがない！」が率直な意見である。

今年はたまたま私も校医先の小学校でPTA会長の任にあるため、被災地域の会長にも問い合わせたのだが、ようやくPTSDと似た症状の子が見られ始めたばかりのようで、口腔内はおろか身体的な問題点や変化などは後々おこなわれる健診などを経て初めて明らかになっていくのではないと思われる。ただ、被災地～避難所の子ども達は生活が不規則になり、保護者もあまり子どもに構える余裕がなかったため、食生活の乱れや歯みがきなどの口腔衛生管理がなござりになっていたことは想像に難しくなく、だからこそ今後の健診結果には注視していく必要がある。

また、朝倉市内の小・中学校は通常よりも10日ほど早く夏休みに入ったために、校医はおろか学校職員もあまり子ども達と接していないというのが実情であり、学校歯科医が学校や子どもと関わる機会があるとしてもこれからであるということをご理解いただきたい。

現時点で学校歯科医が関わった事例としては、未だに避難者が残る杷木中学校が避難所の一つとしてテレビで紹介された際に、中学校長が「歯ブラシが足りない。」と呼びかけたことから、校医で、最寄りの歯科医でもある島添先生が通行困難な状況であるにもかかわらず歯ブラシ集めに奔走され、杷木中学校に届けたことが挙げられる。発災から丸二日も経たない時分の話である。

会員が被災地に口腔衛生用品を届けた話は、ほかにも聞き及んでいる。

さて、ここ2～3年は朝倉学校歯科医会も『福岡県学童期むし歯予防推進事業』に基づいて朝倉市内の小学校におけるフッ化物洗口事業を実現すべく会務を進めてきたが、もはや学校現場がそのような新規事業を立ち上げられるような状況ではなくなったことにも甚だ遺憾の念を感じずにはいられない。

災害は、モノだけでなくあらゆる事象を一瞬で破壊、喪失させていくということを痛感している毎日である。

制度調査委員会 古賀 祥朗



学術委員会 紹介



こんにちは、福岡県学校歯科医会学術委員会です。本年6月より、楠本俊司理事を筆頭に、岡村博久委員長・居川哲憲副委員長・井上浩委員・樽谷晋委員、以上5名の新メンバーで、委員会が発足しました。



現在、学術委員会では11月18日(土)に開催されます「第22回福岡県学校歯科保健研究大会」の企画・準備を行っており、当日配布されます冊子の校正を終了したところです。

当日は、福岡県教育委員会教育長、日本学校歯科医会会長、福岡県歯科医師会会長をはじめ多数のご来賓の先生方をお招きし開催予定です。



学校歯科にて貢献された団体、個人、よい歯の学校表彰、図画・ポスター・標語コンクール優秀者の表彰。3題の実践活動報告に加え、福岡歯科大学 成長発達歯学講座育成小児歯科分野 教授 尾崎正雄先生による、「最近の口腔外傷の傾向と永久歯外傷への対応について」と題して、特別講演を予定しております。

学術委員会が会場係を務めさせていただき、全委員会の先生方で、進行させていただく予定です。学校歯科医、学校関係者の皆様方、お誘いあわせの上ご出席いただけましたら幸いです。

また、平成30年2月3日(土)に予定されています、「学校歯科医生涯研修制度」基礎研修会・併催福岡県学校歯科医新任研修会も、学術委員会が担当させていただきます。

研修内容は

- ① 学校歯科保健の概念を把握する
 - ② 学校歯科保健における保健教育を理解する
 - ③ 学校歯科保健における保健管理を理解する
 - ④ 学校歯科保健における組織活動を理解する
- の4題が予定されています。

受講されていない先生、新任の先生方、ぜひこの機会に、受講していただきますようお願い致します。

学術委員会 岡村 博久





と き 平成29年11月18日(土)
受付 12:30より
12:50~17:00

と ころ 福岡県歯科医師会館
5階 大ホール
(福岡市中央区
大名1丁目12-43
TEL 092-714-4627)

学校歯科保健は、学校教育活動の一環であります。「歯・口の健康づくり」を通して、「生涯にわたる健康づくり」を目標として、児童・生徒、自らが主体的に対応していくことが出来るように支援するとともに、「生きる力」を育む事を目標としています。

今回のテーマは、学校・家庭での子ども達の外傷に焦点を当てています。近年、子ども達のむし歯は、減少傾向にあり、歯を失う原因が外傷にある傾向にあるので、外傷に対して自らの身体を守るという習慣や態度を養うことが、これからの学校歯科保健活動に求められています。そこで、福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野 教授 尾崎正雄先生をお招きして、特別講演を予定しています。

また、養護教諭の先生、学校歯科医の先生の実践活動報告も用意していますので、学校関係者、歯科関係者、関係なく有意義な研究発表内容となっています。

また、展示コーナーとして、学校の授業や歯みがき指導で活用いただく教材や用具、歯・口腔の健康診断に必要な器材・備品等も用意しております。当日直前の申込も大歓迎です。お気軽に参加してください。



平成29年8月19日午後2時より、佐賀県歯科医師会館ホールにおいて日本学校歯科医会から川本会長、長沼専務理事を迎え、九州地区学校歯科医会役員連絡協議会が佐賀県の主催で開催された。

本協議会は、日本学校歯科医会、九州地区各地区学校歯科保健担当役員、佐賀県歯科医師会担当役員、委員が出席し、本会からは杉原会長、三箇副会長、平瀬が出席した。



開会のセレモニー後、開催県佐賀県の座長進行で、まず日本学校歯科医会事業報告で、川本執行部の本年度事業執行に対する説明があった。

続いて（1）平成29年度九州各地区学校歯科関係事業計画について

- （2）各地区提出協議題について
- （3）日本学校歯科医会への質問及び要望事項について
- （4）その他

の4協議題に対し協議を行った。

協議題（1）平成29年度九州各地区学校歯科関係事業計画については、各県の事業について説明があった。全体的にはフッ化物応用についての取り組みが増えているが、都市部では思うようには進んでない印象を受けた。

協議題（2）各地区学校歯科保健関係提出協議題では、学校歯科医生涯研修制度、フ

ッ化物洗口啓発事業、学校歯科医の健康診断、歯周疾患や歯列不正、学校保健委員会の開催、昼食後のブラッシング・歯ブラシの管理、保健調査票に関して等の今後の対応について協議を行った。当県からは、フッ化物洗口の啓発活動に伴う問題点、健康診断時の手指の消毒、感染対策を協議題として提出した。

協議題（3）日本学校歯科医会への質問及び要望事項については、主に生涯研修制度のこれから、健康診断結果統計調査、フッ化物洗口普及啓発について質問要望があり、それぞれに対して回答をいただいた。生涯研修制度においては、更新研修の新設に伴うスライドなどの資料など現在作成中とのことであった。

協議の後、「佐賀県におけるフッ化物洗口の効果」という演題で、佐賀県健康増進課 副課長 西村賢二先生よる講演が行われた。「12歳児で実現できたお口の健康をエビデンスと結びつけ、健康教育を展開していく」という見地から、最終的には「地道な口腔衛生の教育が必要」と話を結ばれた。

本協議会で、多様な意見の交換を通じ学校歯科保健活動のいろいろな課題について理解を深め、次期開催県の挨拶、閉会の辞で3時間の協議会を終了した。



学校歯科健診で児童30人の乳歯抜く

学校歯科健診は、スクリーニングです。医療行為はできません!!

ご存知の先生方も多いと思いますが、兵庫県姫路市での学校歯科健診において、児童に対し抜歯が行われた件につきまして、全国紙のニュースで次のように報じられました。

兵庫県姫路市は、市立安室東小(同市田寺東)で歯科健診の際、学校歯科医が2～6年の児童30人の乳歯計36本を無断で抜いていたと発表した。歯科医は「ぐらついていたので、よかれと思

ってやった」と説明しているが、ショックを受けている児童もあり、市は夏休みに入る21日以降、学校にカウンセラーを派遣し、希望する児童の心のケアにあたるという。

市によると、歯科健診は6月14、15日に全校児童を対象に保健室で実施。平成19年から学校歯科医を務めている市内の40代の男性開業医が、ぐらついている乳歯に診療器具「探針」の先端のかぎを引っかけて抜いた。出

血した児童もいた。同15日に保護者から「希望していないのに子どもが歯を抜かれた」と連絡があり、発覚。健診では治療行為は認められていないが、歯科医は「永久歯への生え替わりをスムーズにするため、よかれと思ってやった。軽率だった」と話したという。市教委健康教育課は「あってはならない行為。

今後は市の歯科医師会と連携し、適切な健診の実施に努めたい」としている。(産経新聞より)

図画・ポスター・標語 審査会

平成29年9月9日（土）、福岡県歯科医師会館において、図画・ポスター審査会が開かれました。審査員に福岡県教育センター産業・情報教育部情報教育班主任指導主事 合田賢治先生をお招きし、三箇副会長、須ノ内副会長、平瀬専務理事、柳迫常務理事立ち合いの下、行われました。県下より集まった選りすぐりの作品を床一面に並べ、幼稚園、小学校低・高学年、中学生、特別支援学校、高等学校の部ごとに会長賞、教育委員会賞、優秀賞、優良賞、佳作、入賞が決定されました。終了後、合田先生より、「日常的な歯みがきの習慣作りだけでなく、歯・口の健康づくりを通じて、生涯にわたって健康な生活を送りたいという願いが込められた作品が多く見られました」との講評を頂きました。特に優秀作品については、福岡県学校歯科保健研究大会で表彰されます。なお、平成29年度歯・口の健康啓発標語コンクールは会長賞、教育委員会賞、優秀賞、優良賞、入賞13点が決定しています。詳細は県学歯会報に掲載予定です。



合田 賢治氏 プロフィール

団体名：福岡県教育センター
産業・情報教育部情報教育班
役職名：主任指導主事
略 歴：2017年4月27日～現在
福岡県教育センター産業・情報教育部
情報教育班主任指導主事
2016年4月1日～2017年3月31日
飯塚市立 潤野小学校 教頭
2014年4月1日～2016年3月31日
飯塚市教育委員会
学校教育課 指導係 指導主事
2011年4月1日～2014年3月31日
福岡教育大学附属福岡小学校
図画工作科部 教諭

私の本棚

当会の歯科保健研究大会でもご講演いただいた元岡山大学病院小児歯科講師 岡崎好秀先生の本を紹介させていただきます。クインテッセンス出版株式会社「世界最強の歯科保健指導 上巻 - 診療室から食育まで -」

岡崎先生の本は3冊ほど購入し読んでいたのですが、今回の本は「世界最強」、と言われるだけあってちょっと値段が高いです。税別12,000円！しかし、岡崎先生最新刊。どんな事が書いてあるのか気になってすぐに注文しました。

本書では、5つのパート（①保健指導🔗テクニック編 ②診療室編 ③地域で話す編 ④食育編 ⑤タバコ編）で構成され、マンガとイラストでわかりやすく解説している。また、17のコラムは学校での保健指導のネタとして非常に有用であると感じた。最近、歯みがき指導もマンネリ化してきていたので、早速使わせていただこうと思っている。

当会の杉原会長も「医療は、疾病志向から健康志向へ大きく転換してきている」とよく言われている。歯科医療も健康長寿社会の実現に向けて「健口教育」が非常に重要になってきている。

その中で、本書は学校保健指導を行う学校歯科医や歯科医療の現場にいる我々の大きな力になってくれると感じた。



第2回西日本子ども歯科保健・健康会議

副会長 須ノ内 茂子



7月初旬、朝倉・日田地方に甚大な被害をもたらした九州北部豪雨の後の平成29年7月8日(土)14:00より17:50まで、福岡県歯科医師会館5F中ホールで第2回西日本子ども歯科保健・健康会議が開催されました。

貧困・陰湿ないじめ・虐待・発達障害など子どもを取り巻く環境が複雑化し、学校だけで取り組むことが困難となり、地域住民・企業・NPOの支援を必要としています。地域との連携のノウハウが不足している学校等に対し、この会のあり方は地域と学校が連携して子どもの成長を支える「協働活動」の一環として、歯科の分野からの普及に向け取り組んでいるものです。

当日の出席者は前年度より増えて、64名になりました。この会は、会費制で成り立っており、会員・賛助会員29名と学校関係者（養護教諭・栄養教諭・校長）や大学関係者（大学教授）、県教を含む教育関係者、市町村で活躍している歯科衛生士、自治体の関係者と加盟団体所属の学校歯科医でした。企業からの支援として西日本シティ銀行、私立大学からの支援として福岡歯科大学が賛助会員になって頂き、少しずつ輪が広がっているのを嬉しく思っています。



当日は予定時間をはるかに越えましたが、シンポジウム後の意見交換では、貴重な意見やこの会に対する賛辞を頂き、活発で和やかな雰囲気でした。その後、学習指導要領改訂後の道徳の時間に対応した「こころの健康」の講演では時間が経つのも忘れ、熱心に傾聴されていました。今回より懇親会を開催し、更に突っ込んだ意見交換をする場となり、会員の親睦が深まる非常に有意義な1日となりました。来年の第3回が楽しみです。

※詳細については1月発行のふくおか県学歯 NO.91へ掲載します。

基調講演

「食生活の変遷から子どもの健康を考える」

福岡歯科大学
成長発達歯学講座
成育小児歯科学分野
教授 尾崎 正雄



シンポジウム

座長

九州歯科大学
地域健康開発歯学分野
教授 安細 敏弘



シンポジスト

「口から美味しく食べられる 生涯の幸せのために」

九州大学大学院
歯学研究院
口腔予防医学分野
教授 山下 喜久



「発達障害の視点からみた小児の食行動」

福岡歯科大学
総合医学講座
小児科学分野
教授 鳥巢 浩幸



「小学校における食育の実際 ～児童の実態と栄養 教諭の取り組み～」

春日市立春日西小学校
栄養教諭
深田 恭代



講話

「こころの健康 ～人は陽性のストロークを 求めて生きている～」

元福岡教育大学
心理相談員・看護師
飯田 一恵



挑戦してみてください! 歯科医師国家試験

歯科医師国家試験問題に学校歯科保健関係の問題が出題されています。正解は、4ページに載せております。

第1問 最も効果的なむし歯予防法はどれか。1つ選べ

- A. フッ化物応用 B. 毎食後の歯みがき
- C. 甘味制限 D. 規則正しい生活
- E. クロルヘキシジン含嗽

第2問 う蝕予防の効果でエビデンスレベルが最も高いのはどれか。1つ選べ

- A. フッ化物応用 B. 定期的な歯科検診
- C. 水流圧洗浄器の使用
- D. デンタルフロスの使用
- E. 甘味食品摂取量のコントロール

第3問 学校歯科健康診断で正しいのはどれか。2つ選べ

- A. 確定診断を行う。
- B. 保健管理領域の活動である。
- C. 結果を保健教育にまで反映させる。
- D. 毎年7月20日までに実施する。
- E. 健康診断票の保存期間は6年間である。

第4問 『生きる力』をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり(平成23年)の各発達段階と課題の組合せで正しいのはどれか2つ選べ

- A. 幼児 ————— 第一大臼歯のむし歯予防と管理
- B. 小学生(低学年) — 歯・口の清掃の開始と習慣化
- C. 小学生(中学年) — 歯肉炎の原因と予防法の理解
- D. 中学生 ————— 好き嫌がなく、よく噛んで食べる習慣づくり
- E. 高校生 ————— 歯周病予防の意義と方法の理解と実践



参照
第96回・第110回歯科医師
国家試験

予 告

歯・口の外傷及びマウスガード講習会

日 時 平成30年1月20日(土) 15:00~17:00
場 所 福岡県歯科医師会館 4階 研修室(404教室)

研究・研修事業

第16回 九州地区健康教育研究大会

日 時 平成29年8月7日(月)・8日(火) 9:00~
場 所 佐賀市文化会館
出席者 杉原会長

平成29年度九州地区学校歯科医会役員連絡協議会

日 時 平成29年8月19日(土) 14:00~
会 場 佐賀県歯科医師会館
出席者 杉原会長・三箇副会長・平瀬専務理事

第81回 全国学校歯科保健研究大会

日 時 平成29年10月26日(木)・27日(金)
会 場 青森市文化会館
リンクステーションホール青森
出席者 三箇副会長・平瀬専務理事・一之瀬理事



この度九州北部豪雨により、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。県学歯の広報委員会で福岡県学校歯科医会70年史を読む機会があり、大変驚く事がありました。我が故郷柳川が誇る、ペチカ、あめふり、待ちぼうけなどで有名な詩人、童謡作家、歌人である北原白秋氏が歯磨きの歌の作詞をされていました。昭和3年に「ムシ歯予防デー」が定められたのがきっかけで昭和7年に1万人規模の

第1回学童歯磨教練体育大会が行なわれました。

そこで白秋作詞の歯磨きの歌「朝は子供に」が独唱されました。一番の詞には、朝は子供に呼びかける、呼びかける。みがけ、すずしい真珠の歯。と親の子供への声かけの大切さや、子供の歯を真珠に例える子供への愛情の深さが伺えます。二番の詞では、夜は子供に呼びかける、呼びかけると、夜の歯磨きの大切さをこの時代から推奨されているのには大変感心しました。柳川では白秋の命日11月2日を挟んで白秋祭水上パレードが行われます。夕方より川下りをするのですが、途中コーラスや太鼓、どろつくどんなどのお祭りの一部が催され、花火で締め括られる、とてもお薦めの行事があります。是非遊びに来て下さい。

広報委員会委員長 安田 誠

News Letter Vol. 2

毎年3回発行
発行人 杉原 瑛治
発行所 〒810-0041
福岡市中央区大名1丁目12-43
福岡県学校歯科医会内
TEL 092-714-4627 FAX 092-714-7599
E-mail k-gakusi@alpha.ocn.ne.jp
U R L http://www.fk-gakusi.jp
印刷所 〒812-0065
福岡市東区二又瀬新町12-29
(榎大里印刷センター)
TEL 092-611-3118 FAX 092-629-2715